

第632回建設技術講習会 現場研修事業の概要

1. 大分川ダム建設事業 大分市下原地先

- ・洪水調節、流水の正常な機能の維持、水道用水の供給を目的とした多目的ダムとして建設
- ・ダム緒元：型式・ロックフィルダム、高さ約92m、長さ約500m、貯水容量約2,400万 m^3 、有効貯水容量約2,240万 m^3
- ・洪水調節として毎秒430 m^3 の洪水調節を行い、大分川ダム地点下流の水害を防除
- ・流水の正常な機能維持として、ダム地点下流の七瀬川及び大分川沿川の維持と増進を図る
- ・動物や植物などの影響を配慮し、関係機関、学識経験者、地元代表者等が協力
- ・恵まれた自然を活かし、自然環境の保全と快適な生活環境の創出を行い、地域振興を目的に、公園やキャンプ場、自然公園などのレクリエーション施設を整備



(視察キーワード：治水・利水、災害対策、地域活性等)

2. 別府市鉄輪地区 まちづくり交付金事業 別府市鉄輪上他

- ・鉄輪温泉地区は、別府八湯の一つとして古くから栄え、共同浴場・旅館・土産物店・洗濯場など湯治場の伝統ある雰囲気を残す温泉街
- ・交通事情の変化、住民の高齢化などによる観光客の減少に住民が危機感を持ち、地元自治会、旅館組合、商工会等による「鉄輪温泉地区まちづくり整備事業受入協議会」を平成16年に設立し、温泉地区の個性を活かした将来のまちづくり方針を協議
- ・整備のテーマはふれあいと情緒ある温泉街の賑わいを再生し、うるおいに満ちた湯けむりたなびく交流型観光地の創造
- ・市及び個人による温泉管の維持管理を改善するための「温泉管共同ボックス」を整備
- ・人的交流の活発化による賑わいのある観光拠点、路地裏、湯けむり散策を安心して楽しめる環境
- ・別府市のシンボル「湯けむり景観」を、大切な観光資源として地域住民との協働により保全・保護を継続的に実施



(視察キーワード：地域活性等)

3. 大分県立美術館 大分市寿町

- ・設計は米プリツカー賞を受賞した坂茂氏
- ・特徴ある建築デザインを取り入れ、各所に地元県産の材料を使用
- ・ゆるやかにウェーブのかかった木組の天井は、竹工芸の「六つ目編み」をモチーフ
- ・大分県産の杉を用いた斜め格子の木組の背後に、鉄骨+唐松の耐火集成材の柱があり、ガラスのカーテンウォールで覆っている
- ・外と内を一つにする「水平折戸」を設置し外から中の様子が伺え、省エネも計る
- ・柱のない展示空間
- ・場内37箇所の柱に免震装置を設置し、震度7の地震でも揺れを抑え展示物を守る



(視察キーワード：地域活性等)